

香菜通信

発行

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
東北中国帰国者支援・交流センター

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 3-3-1
電話：022-263-0948/022-223-1152
URL：https://www.miyagi-sfk.net/china

移動交流会 in 青森県

令和6年度10月15日(火)、青森県で移動日本語交流会を開催し、青森県在住の中国帰国者11名と支援・相談員等支援者14名の参加がありました。世界遺産である縄文遺跡群の魅力や情報を発信する施設(じょもじょも)を見学し、衣服着用や釣り体験等で古い時代の文化に触れました。その後、青森市民ホールへ移動し、近況報告や情報交換を行い、久しぶりに会う方々と笑顔で交流されました。後半は、青森県作業療法士会から平川裕一氏を講師に迎え、「ゆたかな生活・あじわい深い生活は健康から」をテーマに、健康教室を行いました。元気に生活するための健康維持の秘訣やストレッチを教えていただき、帰国者の皆さんは頷きながら真剣に耳を傾け、家でも継続できると今後の実践に意欲を見せていました。最後に記念の集合写真をパチリ！楽しい時間はあっという間に過ぎて、思い出の1ページになりました。



青森県移動交流会

令和6年度10月15日(星期二), 在青森县举办了移动日本語交流会, 居住在青森县的11名归国者与支援・相談員等14名支援者参加了本次交流会。大家参观了传播世界遗址・縄文遗址群的信息与魅力的设施(じょもじょも), 并通过穿戴那时代的衣服和钓鱼来体验了縄文时代的文化。之后在青森县市民会馆进行了近况报告及交换了意见, 和许久未见的人们进行了愉快的交流。交流会后半部分, 迎来了青森县职业治疗师协会派来的平川裕一讲师, 讲师以「丰富多彩的生活从健康开始」为题举办了健康教室。归国者们专心聆听, 受教了维持健康生活的秘訣及运动。并且一边点头一边表示争取今后在家里也坚持做运动。最后, 大家合影留念, 快乐时光总是过得飞快, 转眼成为了美好回忆的一篇。

山形県からの投稿 ～芋煮会開催

9月21日（土）に山形県の交流事業で「芋煮会」を開催しました。川原にかまどを用意し、大鍋で芋煮を作って食べる、山形県の秋の風物詩です。山形県民が楽しみにしている行事で、交流事業でも毎年行っています。今年は馬見ヶ崎川原に12人の帰国者が集まり、芋煮を作って食べました。あいにくの雨模様でしたが、芋煮を食べて温まりました。屋外で、大人数で食べる芋煮はとてもおいしかったです。



来自山形县的投稿 ～举办煮芋会

9月21日（星期六）山形县在交流事业项目里举办了「煮芋会」。煮芋是，在河边架起炉子，然后将芋头等材料放进大锅里炖出来的料理，是山形县秋季的传统。也是山形县民最期待的秋季活动，在交流事业项目里每年的秋季都在举办。今年是在马见崎川原，聚集了归国者12名，一同做的煮芋，虽然天气不给力有要下雨的样子，但是吃着热乎乎的煮芋，大家身心都暖暖的。在户外和大家一起吃煮芋，非常好吃。

令和6年度 東北ブロック圏内中国帰国者支援機関連絡会議 開催

9月18日（水）に、東北ブロックの各県、政令指定都市及び中核市の中国残留邦人等支援業務担当者が集まり、中国帰国者への支援充実と行政機関相互の連携を図ることを目的として、みやぎハートフルセンターで情報交換を行いました。帰国者1世の高齢化が進む中、今できる支援について活発な意見交換ができました。また、首都圏中国帰国者支援・交流センターの馬場様と熊谷圭子様をお迎えし、『ある中国残留婦人の満蒙開拓団での体験～何故満州に行ったのか？何故帰れなかったのか』について「語り部」の講話をいただきました。忘れてはいけない日本人の戦争の記録だと思いました。



令和6年度东北地区圈内举办了东北归国者支援机关联络会议

9月18日（星期三）政令指定都市及中核城市的担当支援遗留华人等的人员聚集在みやぎハートフルセンター，旨在加强对中国归国者的支援和为了促进行政机构之间的合作为目的，交换了信息。还就随着归国者第一代的老龄化，现在能提供哪些方面的支援得到了积极的建议。我们还迎来了首都圈中国归国者支援・交流中心的马场女士与熊谷圭子女士，倾听了专业叙述人的「中国残留妇人在满蒙开拓团的经历～为什么去的满洲？为什么没有归国」的讲演。我想这是一段不应该被遗忘的战争历史记录。

岩手県通訳奉仕会様からの投稿 ～盛岡地区で行われている手芸教室とプール体験の様子

手芸教室では、きめ込み手芸や様々な種類に挑戦しメキメキと実力をあげています。プールは日本語実践と健康増進を兼ね『ふれあいランド岩手』で水中歩行を定期的の実施していますが、最近は泳ぎに挑戦する人も出てきています。利用し初めの頃は意地悪をされた事も有りましたが、最近では中華料理の作り方を聞いてくる方がいる等日本語実践の貴重な時間となっています。スタッフの皆さんともすっかり顔馴染みになり、一部のスタッフさんは中国語を覚えようとし、簡単な挨拶など中国語で話しかけてくれます。ふれあいランドで実施されるポッチャなどのニュースポーツにも積極的に参加し、年に一度開催されるふれあいランド祭には、スタンプラリー受付と商品交換のボランティアを10年近く続けて参加しています。



来自岩手县翻译奉仕会的投稿 ～盛岡地区举办的手工教室和体验游泳的样子

在手工教室，归国者们通过挑战各种类型的手工艺品提高了自己的实力。还有为了练习日语和促进健康在『岩手友好乐园』定期实施的水中步行内容的游泳教室里最近还出现了挑战游泳的归国者。虽然刚开始利用此设施时，受到过不友善的对待。但是最近也有人来问中华料理的做法等直接变成了练习日语的宝贵的时间。归国者们还和工作人员都变得熟悉起来，甚至有一些工作人员开始学习起中文，说一些简单的中文来打招呼。归国者们还主动参加在友好乐园举行的硬地滚球等新运动。还在每年举行一次的友好乐园节上，做了近十年收集印章和商品交换的志愿者。

【交流活動～料理教室】

10月25日（金）に、今年2回目となる料理教室を開催しました。12名の帰国者とボランティア2名が参加しました。今回のメニューは、カレーライス、サラダ、肉団子と春雨のスープです。カレーは、甘口・中辛・バリ辛（とても辛い）の3つの味でした。普段ほとんどカレーは作らないという帰国者の皆さんでしたが、手際よく芋等の皮むき、野菜を炒め、煮込む時間も楽しい調理時間でした。「辛～い！」と言いつつカレーを食べ、「おいしい！」と言いつつスープを飲み、笑顔と楽しいお喋りに花が咲いたひとときとなりました。



【交流活動～料理教室】

10月25日（星期五）中心举办了今年第二次的料理教室。归国者12名与志愿者2名参加了这次的料理教室。这次的菜单是，咖喱饭，凉菜和肉丸子粉丝汤。咖喱做了甜口味，中辣口味和特辣口味的三种。虽然归国者们说着平时在家很少做咖喱，但是很熟练的削着土豆皮，炒着蔬菜。在等待咖喱煮熟的时间，大家一边聊着烹饪方面的话题，一边调制着凉菜和汤。等待咖喱煮熟的时间也变成了快乐的烹饪时间。大家吃着辣味十足的咖喱边说太辣了，然后喝着美味的汤笑容都写在了脸上，渡过了愉快的时光。

今後の予定

- ボランティア等研修会（1月）
- 日本語学習展示発表会（3月5日）
- 新春のつどい（2月）



今后的日程

- 志愿者等研修会（1月）
- 日语学习发表会（3月5日）
- 新春聚会（2月）



❄️❄️❄️❄️ 編集後記 ❄️❄️❄️❄️

暑い夏が終わり秋を感じる間もなく冬になりました。体調に留意し、年末年始等、楽しくお過ごしください。また来年、元気にお会いしましょう。

❄️❄️❄️❄️ 编后记 ❄️❄️❄️❄️

炎熱的夏天已过去，还没有感觉到多少秋天的气息就已经进入了冬季。希望大家多注意身体度过一个快乐的新年。我们明年再见。

